



# 製造業から生み出される 景気の動き

Step  
1



全国各地の事業所からの  
生産量のデータ



集計

Step  
2



業種別の毎月の生産データ  
(生産動態統計)



再計算

Step  
3

製造業全体の活況度  
(鉱工業指数: IIP)



活用

Step  
4

政府の経済政策の検討  
月例経済報告(生産部分)





# すべては、調査票に 記入いただくことから はじまっています。



経済産業省生産動態統計調査  
鉄鋼月報(その1) 鉄鉄・フェロアロイ・粗鋼・  
鋼半製品・鍛鋼品・铸鋼品  
(平成 26 年 月分)

基 幹 統 計	経済産業省生産動態統計
提出先	経済産業大臣
提出期日	翌 月 15 日
提出部数	1 部

1-1. 製 品		単位：t						
品 目	項 目	番 号	生 産 A	受 入 B	消 費 C	出 荷		月 末 在 庫 F
						販 売 D	そ の 他 E	
鉄 鋼 用 鉄 物	製 鋼 用 鉄	0101						
	铸 物 用 鉄	0102						
フェロアロイ	フェロ高炭素	0103						
	マンガン低炭素	0104						
	シリコマンガ	0105						
	フェロニッケル	0106						
	その他のフェロアロイ	0107						
粗 鋼	塊	普 通 鋼	0108					
		特 殊 鋼	0109					
	铸鋼铸込	普 通 鋼	0110					
		特 殊 鋼	0111					
鋼 半 製 品	普 通 鋼	0112						
	特 殊 鋼	0113						
鍛 鋼 品 (打 放)	普 通 鋼	0114						
	特 殊 鋼	0115						
铸 鋼 品 (铸 放)	普 通 鋼	0116						
	特 殊 鋼	0117						

注1：フェロアロイの「生産」には「純生産」を記入してください。「純生産」とは生産からフェロアロイ用に消費した分を差し引いたものです。  
注2：鋼半製品の「生産」には「純生産」を記入してください。「純生産」とは総生産から再圧延してできた鋼半製品の量を差し引いたものです。

毎月の調査への御協力  
ありがとうございます。

調査票

調査票

調査票

調査票

回収・集計

by 経済産業省

I 鉄鋼業 Iron and steel

品目		単位	区分	平成26年 9月	平成26年 10月	前月比 増減率(%)	前年同月比 増減率(%)
Commodity		Unit	Item	Sep.2014	Oct.2014	R.P.	R.S.
鉄鉄 Pig iron	t	生産(P)	7,058,786	7,172,108	1.6	0.0	
		出荷(S)	263,068	263,943	0.3	▲ 6.7	
		在庫(I)	594,007	665,851	12.1	▲ 5.2	
フェロアロイ計 Ferro-alloys total	t	生産(P)	60,280	79,393	31.7	▲ 4.1	
		出荷(S)	74,576	75,252	0.9	▲ 15.2	
		在庫(I)	149,114	152,027	2.0	▲ 6.9	
内 フェロマンガ ン(高炭素、低炭素) Ferro-manganese(high-carbon,low-carbon)	t	生産(P)	28,393	39,185	38.0	▲ 8.9	
		出荷(S)	45,194	50,800	12.5	▲ 2.8	
		在庫(I)	100,876	94,430	▲ 6.4	▲ 3.9	
内 フェロニッケル Ferro-nickel	t	生産(P)	28,289	30,611	8.2	▲ 10.0	
		出荷(S)	25,312	20,110	▲ 20.6	▲ 32.8	
		在庫(I)	27,726	34,243	23.5	▲ 30.6	
粗鋼 Onude steel	t	生産(P)	9,250,452	9,361,961	1.2	▲ 1.7	
		出荷(S)	3,088	3,901	26.3	17.5	
		在庫(I)	100,159	102,580	2.4	18.6	
鋼半製品 Semi-finished steel	t	生産(P)	9,036,290	9,113,473	0.9	▲ 2.0	
		出荷(S)	690,054	774,019	12.2	28.9	
		在庫(I)	3,836,772	3,595,668	▲ 6.3	▲ 5.8	
鋼 普通	t	鋼矢板 Sheet pilings	生産(P)	68,339	82,383	20.6	11.8
		出荷(S)	64,833	68,567	5.8	1.3	
		在庫(I)	54,462	67,778	24.4	9.7	
熱間圧延鋼材	t	H形鋼 Wide flange beams	生産(P)	329,970	330,154	0.1	▲ 8.2
		出荷(S)	337,756	317,805	▲ 5.9	▲ 9.2	
		在庫(I)	212,473	224,076	5.5	▲ 2.7	
大形形鋼 Heavy shapes	t	生産(P)	84,731	79,685	▲ 6.0	3.3	
		出荷(S)	90,695	73,938	▲ 18.5	6.5	
		在庫(I)	51,778	57,466	11.0	3.1	
中小形形鋼 Medium and light shapes	t	生産(P)	90,891	109,677	20.7	14.3	
		出荷(S)	100,023	103,413	3.4	14.6	
		在庫(I)	74,022	80,235	8.4	▲ 7.1	
小形棒鋼 Light bars	t	生産(P)	782,827	811,526	3.7	▲ 3.3	
		出荷(S)	700,664	690,104	▲ 1.5	▲ 2.1	
		在庫(I)	1,026,163	1,121,422	9.3	▲ 1.1	

生産動態統計調査  
として公表されます。

さらに 生産動態統計調査 を加工して

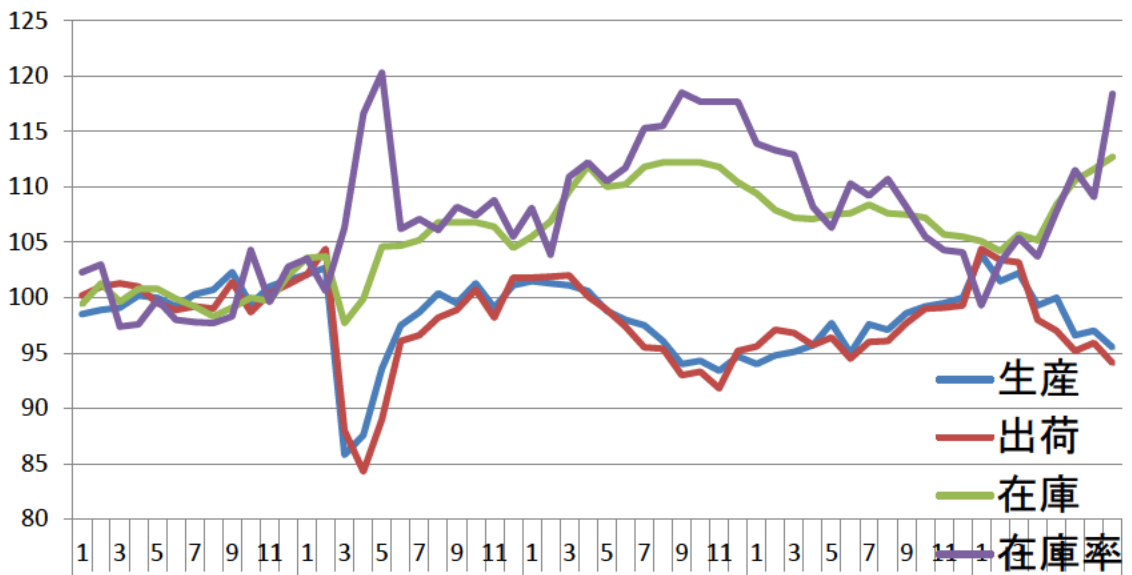
1 鉄鋼業 Iron and steel

品目		単位	区分	平成26年 9月	平成26年 10月	前月比 増減率(%)	前年同月比 増減率(%)	
Commodity		Unit	Item	Sep.2014	Oct.2014	R.P.	R.S.	
鉄鉄 Pig iron	t	生産(P)		7,058,786	7,172,108	1.6	0.0	
		出荷(S)		263,069	263,043	0.3	▲ 6.7	
		在庫(I)		594,007	665,851	12.1	5.2	
フェロアロイ 計 Ferro-alloys total	t	生産(P)		60,280	79,393	31.7	▲ 4.1	
		出荷(S)		74,576	75,252	0.9	▲ 15.2	
		在庫(I)		149,114	152,027	2.0	▲ 6.9	
内 フェロマンガ ン(高炭素、低炭素) Ferro-manganese(high-carbon/low-carbon)	t	生産(P)		28,393	39,185	38.0	▲ 8.9	
		出荷(S)		45,194	50,860	12.5	▲ 2.8	
		在庫(I)		100,876	84,430	▲ 6.4	☆ 3.9	
内 フェロニッケル Ferro-nickel	t	生産(P)		28,289	30,611	8.2	▲ 10.0	
		出荷(S)		25,312	20,110	▲ 20.6	▲ 32.8	
		在庫(I)		27,726	34,243	23.5	▲ 30.6	
粗鋼 Crude steel	t	生産(P)		9,250,452	9,361,961	1.2	▲ 1.7	
		出荷(S)		3,088	3,961	28.3	17.5	
		在庫(I)		100,159	102,580	2.4	18.6	
鋼半製品 Semi-finished steel	t	生産(P)		9,036,290	9,113,473	0.9	▲ 2.0	
		出荷(S)		690,054	774,019	12.2	28.9	
		在庫(I)		3,836,772	3,595,608	▲ 6.3	▲ 5.8	
熱間圧延鋼材 普通鋼	鋼矢板 Sheet piling	t	生産(P)		68,339	82,383	20.6	11.8
			出荷(S)		64,833	68,567	5.8	1.3
			在庫(I)		54,482	67,778	24.4	9.7
	H形鋼 Wide flange beams	t	生産(P)		329,970	330,154	0.1	▲ 8.2
			出荷(S)		337,756	317,805	▲ 5.9	▲ 9.2
			在庫(I)		212,473	224,076	5.5	▲ 2.7
	大形形鋼 Heavy shapes	t	生産(P)		84,731	79,685	▲ 6.0	3.3
			出荷(S)		90,695	73,938	▲ 18.5	6.5
			在庫(I)		51,776	57,466	11.0	3.1
	中小形形鋼 Medium and light shapes	t	生産(P)		90,891	109,677	20.7	14.3
			出荷(S)		100,023	103,413	3.4	14.6
			在庫(I)		74,022	80,235	8.4	▲ 7.1
小形棒鋼 Light bars	t	生産(P)		782,827	811,526	3.7	▲ 3.3	
		出荷(S)		700,884	690,104	▲ 1.5	▲ 2.1	
		在庫(I)		400,000	400,000	0.0	0.0	



鉱工業指数 (IIP)

を作成します。



この鉱工業指数が、

政府・日銀の  
政策決定の際の資料

GDPなど景気判断の指標  
を作成するためのデータ

となります。

# 内閣府の 景気判断のための資料と つながっています

## 月例経済報告

(平成26年12月)

—景気は、個人消費などに弱さがみられるが、緩やかな回復  
基調が続いている。—

先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善傾向が続  
くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。  
ただし、消費者マインドの低下や海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押し  
するリスクに留意する必要がある。

平成26年12月19日

内 閣 府

Q. 月例経済報告とは？

A. 景気についての政府の公式判断  
(内閣府作成) <sup>6</sup>

# この中で**鉱工業生産指数**が 利用されています。

[参考]先月からの主要変更

	11月月例	12月月例
基調判断	<p>景気は、個人消費などに弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人消費は、持ち直しの動きが続いているものの、このところ足踏みがみられる。</li> <li>設備投資は、増加傾向にあるものの、このところ弱い動きもみられる。</li> <li>輸出は、横ばいとなっている。</li> <li><b>生産は、このところ減少している。</b></li> <li>企業収益は、全体としては改善に足踏みがみられるが、大企業ではこのところ改善の動きもみられる。企業の業況判断は、大企業製造業ではやや改善しているが、全体としては慎重さがみられる。</li> <li>雇用情勢は、有効求人倍率の上昇には一服感がみられるものの、改善傾向にある。</li> <li>消費者物価は、このところ横ばいとなっている。</li> </ul> <p>先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、消費者マインドの低下や海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意する必要がある。</p>	<p>景気は、個人消費などに弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人消費は、消費者マインドに弱さがみられるなかで、<b>度堅い動き</b>となっている。</li> <li>設備投資は、<b>おおむね横ばい</b>となっている。</li> <li>輸出は、横ばいとなっている。</li> <li><b>生産は、下げ止まっている。</b></li> <li>企業収益は、全体としては<b>おおむね横ばい</b>となっているが、大企業製造業では改善の動きもみられる。企業の業況判断は、<b>おおむね横ばい</b>となっている。</li> <li>雇用情勢は、有効求人倍率の上昇には一服感がみられるものの、改善傾向にある。</li> <li>消費者物価は、このところ横ばいとなっている。</li> </ul> <p>先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、消費者マインドの低下や海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意する必要がある。</p>

## 2. 企業活動と雇用情勢

### 生産は、下げ止まっている。

鉱工業生産は、下げ止まっている。**鉱工業生産指数は、10月は前月比0.4%増**となった。**鉱工業在庫指数は、10月は同0.4%減**となり、2か月連続の減少となった。また、製造工業生産予測調査によると、11月は同2.3%増、12月は同0.4%増となることが見込まれている。

業種別にみると、輸送機械は下げ止まりの兆しがみられる。はん用・生産用・業務用機械は横ばいとなっている。電子部品・デバイスは持ち直している。

生産の先行きについては、当面、在庫面からの下押し圧力が残るものの、次第に持ち直しに向かうことが期待される。

また、第3次産業活動は、持ち直しの動きがみられる。

出典 月例経済報告（H26年12月） 内閣府発行 2P,6P

<http://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2014/1219getsurei/main.pdf>

# ほかにも 鉱工業指数 (IIP) は、



金融政策決定会合  
(日銀)

GDP

景気動向指数



内閣府

Cabinet Office, Government of Japan

政府の経済政策や、日本銀行の  
金融政策を決定するための  
基礎資料として使われています！